

安全報告書 2021

【介護事業部】



2021 年 9 月



遠州鉄道（株）介護事業部（楽クラス）

----- 2021 年 安全報告書 -----

➤ごあいさつ.....	P 2
➤ 1 . 2020 年度 介護の安全に関わる目標の達成状況・2021 年度目標.....	P 3
➤ 2 . 2020 年度 介護の安全確保のために実施した内容（取り組み）	P 4
➤ 3 . 2021 年度 介護の安全確保のための取り組み・進捗状況.....	P 1 6
➤ 4 . 新型コロナウイルス感染予防対策について.....	P 2 7
➤ 5 . 介護の安全に関する組織体制及び指揮命令系統.....	P 2 8

介護事業に関する安全への取組みについて

ごあいさつ

私たち遠鉄グループは、鉄道やバス等の運輸事業を通じて培われてきた「信頼」を基に、「地域とともに歩む総合生活産業として社会に貢献する」を経営理念として掲げてまいりました。

ラクラスは、介護保険法の精神のもと、2009年に開業し『すべての人の「心ゆたかに楽しく暮らす」をお手伝いします』を基本理念に、高齢者の尊厳を保持し、ご本人様とご家族様が安心して生活できる環境やサービスを提供してまいりました。そして、地域にとってなくてはならない存在となるため、遠州鉄道だからできる「ひとつ上の安心な介護」の提供を目指し、“安全こそが最も重要なサービスである”ことを深く認識し、職員一丸となって法令や規則を遵守してまいりました。

2020年度には、コロナ感染対策を最重要事項として取り組み、厚労省の定める指針に従い、感染予防・拡大防止に努める一方で、職員のプライベートにおいてもガイドラインを設け、ウイルスを持ち込まない取り組みを徹底してまいりました。

2021年度は、引き続きコロナ感染対策を徹底すると共に、高齢者の外出が制限される中、4月に開設した「上島 機能訓練センター」を起点にフレイル予防を強化し、機能維持に努め、ご利用者様の生活を守ってまいります。

本報告書は当社の「介護事業に関する安全への取組み」を皆様に公表させていただき、ラクラスをご利用いただく一助としてご覧いただけたら幸いに存じます。

行動原則（安全管理）

～セーフティファースト宣言～

- ・ 予知、予防に努めます。
- ・ 感染症予防、対策を行います。
- ・ 福祉用具の使用方法を守り、点検を行います。
- ・ 防災訓練を行います。
- ・ 秘密保持、守秘義務を守ります。



遠州鉄道株式会社
代表取締役社長 齊藤 薫

1. 2020 年度介護の安全に関わる目標の達成状況・2021 年度目標

(1) 2020 年度 事故抑止目標の達成状況

①介助中事故件数

	2019 年度件数	2020 年度目標	2020 年度件数	前年比・差 (%)	目標比・差 (%)
介助中事故件数	385	357	301	78.2	84.3
介助中事故差	---	---	---	▲84	▲56

・2020 年度介助中の事故件数 : 対前年度比 78.2%【目標達成】

【種類別事故分類】

	転倒 転落	誤薬 落薬	誤嚥	誤食	無断 外出	内出血 皮むけ	その他	計
2020	34	81	4	33	4	47	98	301
2019	75	86	8	43	15	49	109	385
前年差	▲41	▲5	▲4	▲10	▲11	▲2	▲11	▲84
前年比	45.3%	94.2%	50%	76.7%	26.7%	95.9%	89.9%	78.2%

②介助中事故の発生率

	2019 年度	2020 年度
A.介助中事故件数	385	301
B.ご利用者人数	304,549	318,906
事故発生率 (A÷B)	0.126%	0.094%

(2) 2021 年度 事故抑止目標

	介助中事故件数	事故発生率
2021 年度目標 (前年差)	300 (▲1)	0.087% (7.5%削減)

※ご利用者様は 341,000 名 (106.9%) で算出

(3) 安全に関する資格取得者数 (2020 年度増加実績)

- ①介護福祉士 237 名 (+37) ※介護福祉士比率 : 52.6%→57.8%
- ②第一種衛生管理者 19 名 (+5)
- ③看護師 85 名 (+8)

2. 2020 年度 介護の安全確保のために実施した内容（取り組み）

（１） 介護の安全確保のためのスタッフへの教育・研修実施

研修チーム（介護事業管理課長・統括マネジャー・レジデンスマネジャー・運営アドバイザー・インストラクター2名）による計画的な研修を実施しました。

研修	対象者	教育・研修内容	回数／年
臨店指導	各施設 全員	専属インストラクターによる臨店指導 各施設巡回	各施設 4 回
新人研修委員会	各施設 教育担当者	新人を育てる人を育成する研修	7 回
新卒者研修	新卒者	4 月入社の新卒社員の研修	5 回
施設長研修	施設長	施設長対象のマネジメント研修	1 回
リーダー研修	リーダー	次期施設長候補を対象に実施	4 回
中堅社員研修	中堅社員	次期リーダーを対象に実施	2 回
出張研修	各施設全員	各施設へ出張研修 テーマは理念研修	各施設 1 回
入社 2 か月後 研修	入社 2 か月者	理念、ホスピタリティ、接遇、認知症等について学ぶとともに、個々の悩みも参加者で共有。問題解決を図る。	毎月
介護技術研修	介護士	介護技術の専門実技研修	10 回
ナース研修	ナース	専門技術ナース研修	8 回
機能訓練士研修	機能訓練士	専門技術機能訓練士研修	12 回
OJT 担当者研修	OJT 担当者	介護技術向上と統一化を目標とし実施。実地試験実施後、合格者は新人指導「OJT 委員」として認定。	2 回
外部研修	全員	オンラインによる各種研修	随時



＜リアル研修＞



＜オンライン研修＞

（２）介護事故種類別の再発防止策

介護事故の種類別定義を明確にし、事故報告書を作成しております。
原因の分析、今後の対策を立て、全体で共有することで事故の未然防止、再発防止に取り組んでおります。

①転倒防止のための対策

【転倒事故の定義】

ご利用者様が転倒をした事実をもって転倒事故と定義しております
※外傷や痛みもなく経過観察した場合、またはご本人・他のご利用者様からの
申告だけで、職員が目撃していない場合も含む

【対策】

ご利用者様の服装、杖等の装備、疾患、服薬、環境、特性等転倒の根本要因を探り、改善することにより、転倒そのものを減らす対策を実施してまいります。

そのためにも下記設備の活用をしております。

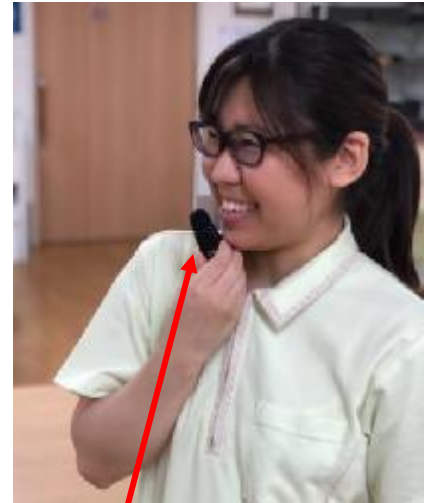
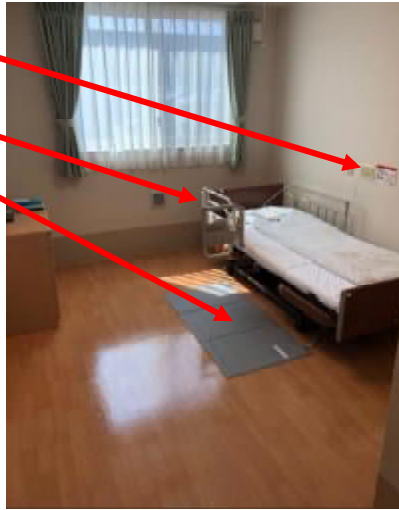
○居室内のナースコール、L字柵、センサーマット等の設備設置

○フロア職員のインカムでの情報共有

●ナースコール

●L 字柵

●センサーマット



●インカムで情報共有

②誤薬防止のための対策

【誤薬事故の定義】

下記の場合、誤薬事故と定義しております。

- ・ 他人の薬を誤って服用してしまった
- ・ 飲むべき薬を飲まなかった
- ・ 飲むべき薬の処方量を誤って飲んでしまった

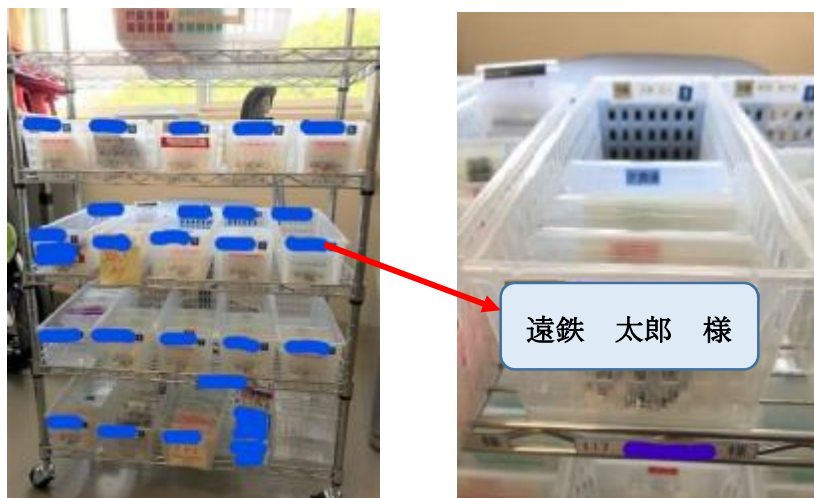
【対策】

介護スタッフのミスの防止と発見ができるよう、ご利用者様の口に入る前に誤りを発見できるようなチェック体制としくみづくりを実施しております。

○薬袋を朝・昼・夕・眠前で色分けを行い、間違いがないよう服用



○名前入りの個人別の薬ケースを活用し、名前を照合しご本人様の薬かどうか確認



○顔写真付き食札の活用によるご本人様確認



顔写真付き食札で、
投薬時の本人確認
を実施

③誤嚥防止のための対策

【誤嚥事故の定義】

食事が、のどに詰まり呼吸困難に陥ったことをもって、誤嚥事故と定義しております

【対策】

■ご利用者様が正しい食事姿勢で食事できる介助の実施

安定した姿勢で食事をするだけでも飲み込みやすさは大きく変わります。正しい姿勢をとっていただくことを常に意識して介助しております。

■ご利用者様のペースに合わせた正しい食事介助の実施

介護者はご利用者様の利き手側に座って介助します。まずは水分から口にして

いただき、以降ひと口の量やスピードなどのご利用者様の様子を見て、無理がないようにご利用者様のペースに合わせるようにしております。

■ご利用者様の状況に合わせて食べ物の形態を変えた食事を提供



ふつう食



きざみ食



ペースト食

④無断外出（行方不明）防止のための対策

【無断外出（行方不明）事故の定義】

認知症等により失見当識のあるご利用者様、または徘徊等の周辺症状があるご利用者様が、本来過ごすフロアや居室から職員が気付かない間に所在不明の場合、または他の場所にいた場合に事故として取り扱います。

【対策】

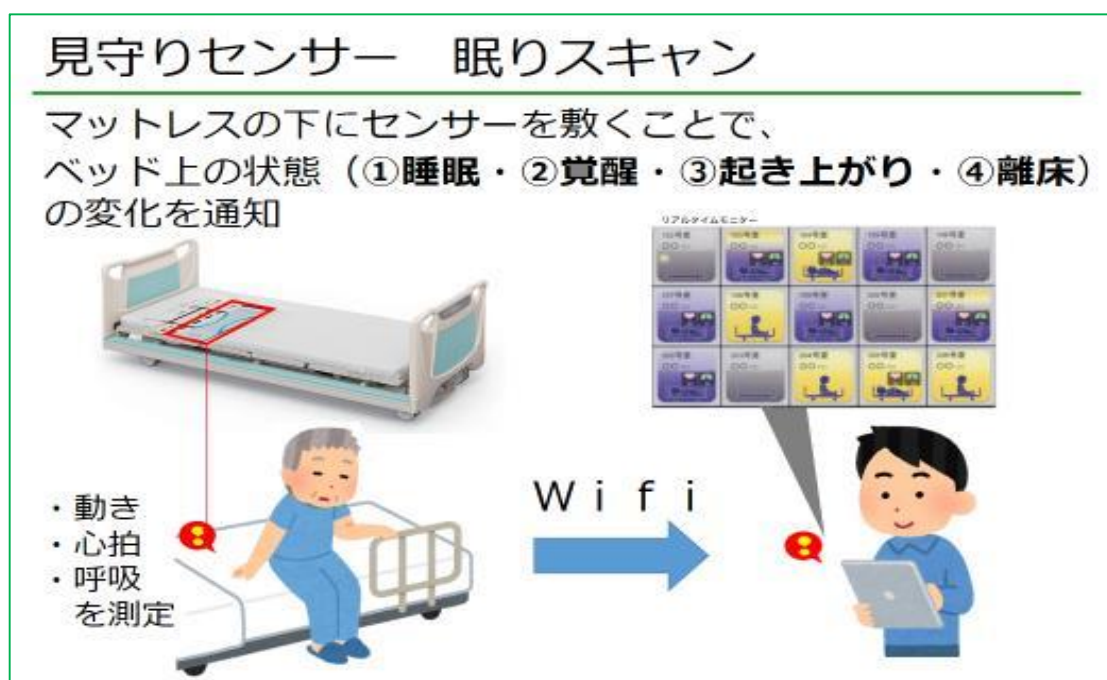
- 事前情報の共有 : 可能性のある方の情報共有
- セキュリティー面での防止策 : 暗証番号での扉、EV 管理
- 見守りによる防止策 : 介護スタッフの見守り専門の勤務時間設定
- 迅速で有効な搜索体制 : 緊急連絡網による搜索体制、外部への協力要請



(3) ICT を活用した安全への取り組み

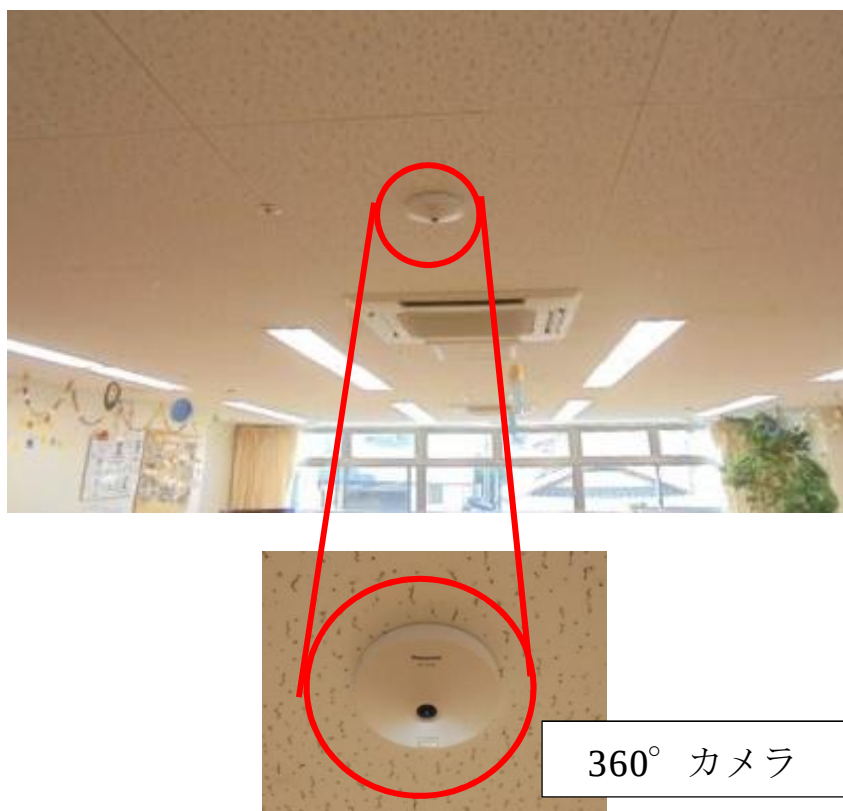
①見守りセンサー（眠りスキャン）の活用

レジデンス施設、ショートステイ施設にて活用しております。ベッド上のご利用者様の状態の変化をいち早く把握できるようになり、転倒等リスクの軽減が可能となりました。



②フロアカメラの活用による見守り強化

施設の共用フロアには、カメラを設置し、もしもの時にもスピーディーに対応できる体制をとっております。



(4) 施設ハード面での安全対策

ご利用者様が、安全安心にお暮しいただけるよう、できる限り、危険を未然に防止する対策を講じております。また、防ぐことが難しい事故に対しては、被害を最小限に抑えるため、ハード面での対策を実施しております。

屋外から室内までの
完全バリアフリー構造



転倒時の衝撃を緩和する
クッションフロア



無断外出防止の玄関用センサー



移動時の衝突対策の
コーナーガード



排泄時の姿勢保持のための
各種アームバー



カランでの立ち上がり時の
補助手すり



(5) 経営トップによる全施設巡回点検

2020年5月に、斉藤社長及び丸山グループ経営推進本部長による全施設を対象とした巡回点検を実施。安全確保やご利用者様の利便性向上に関する指摘箇所への対応を行いました。



＜施設巡回点検の様子＞

【主な指摘事項と対応策、改善後の状況】

施設名	ラクラ可睡の杜レジデンス	
指摘事項	洗面台の緩衝材が劣化していて接触した時に危険	
対応策	緩衝材の交換	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス見付デイサービス	
指摘事項	お風呂場コーナーガードが破損していて危険	
対応策	新しいコーナーガード設置	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス中島デイサービス	
指摘事項	送迎者駐車場に輪留めがなくバック走行時衝突の危険性がある	
対応策	輪留めを設置	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス掛塚デイサービス	
指摘事項	風呂場の床の傾きによりイスが不安定で危険	
対応策	床の水平化工事実施	
	改善前	改善後
		

(6) 事業部スタッフの施設訪問による巡回指導、支援実施

- リスクマネジメント支援（物的、人的） 1,075 回（年間）
リスク管理委員会、衛生委員会、臨店指導、防災訓練等に参加

(7) 送迎の安全のための取組み

①送迎担当者の安全運転教育実施

デイサービス 13 施設にて実施 7 月～9 月

新規送迎担当者は、入社後、先輩社員同乗のもと最低 2 週間の研修

②出勤前及び運行前後※アルコールチェックの実施

送迎時には、必ず運行前点検と共にアルコールチェックを実施。

また、携帯用アルコールチェッカーを貸与し、出勤前にもアルコールチェックを義務化。安心安全な送迎活動を実施。

③送迎車に、バックモニター、急発進抑制装置の配備、定期的な換気。



※②乗車前のアルコールチェック



(8) 定期的な防災訓練の実施 4月～7月、10月、11月

- ①地震防災訓練 各施設にて年2回開催
- ②水害訓練 上島、中島、西美蘭、南汐田 7月
- ③土砂災害訓練 見付 6月



(9) 監査の実施

- ①自己監査（6月～8月、12月、2月、3月実施）

「内部統制システム構築に関する基本方針」に基づく自己監査規程により、自己監査を実施しております。2020年度についても、全施設に対して自己監査を実施し、運営状況を確認しました。また指摘事項についてはフォローアップ監査を実施し改善を図りました。

○監査項目：虐待防止対策、重大事故対策、介護保険法遵守、人員体制確保、労働基準法遵守、個人情報保護、ハラスメント対策、コロナ対策

○指摘：4施設4項目にて下記指摘事項があり。翌月より対応済み。

➤時間外勤務増2件、研修未実施、職員との面談未実施

- ②監査等委員監査（当社取締役）

危機管理委員長（介護事業部長）等に対して介護の安全確保及び適正な運営への取り組みについての当社監査等委員監査を実施しております。

(10) 個人情報保護対策

- ・ 個人情報は決められた場所に保管、施錠の徹底。
- ・ 机の上や車内に個人情報を放置しない。
- ・ 持ち出しの場合の厳格なルール設定。管理台帳の活用徹底。

(11) ご家族様からの声

いつも施設をご利用いただいているご利用者様のご家族様から寄せられたお声の一部を紹介させていただきます。

◆デイサービス ご利用者様のご家族様

親切な送迎に毎回感謝しています。また、楽しく利用している様子が、帰ってからの会話で察することができ、身内の者としてありがたく思っております。

◆デイサービス ご利用者様のご家族様

行き届いたサービスをして頂いておりありがとうございます。
丁寧な対応で物作りも不器用な母でもわかりやすく教えて頂いて、作品が増えていくのが嬉しく思います。
運動も声を掛けて下さるので一生懸命励んでいます。

◆デイサービス ご利用者様のご家族様

温かい食事を自ら選んで食べることができ毎回楽しみにしています。
食事のメニュー表も便利で台所に掲示しています。季節を感じながら旬の物を頂き、満足しています。

◆ショートステイ ご利用者様のご家族様

足や手の力もだんだん弱くなってきていて、不意なけが等することもあります。しっかりと丁寧にみてくださって、安心して預けられます。少しでも自分の力で歩いてほしいと思っております。これからもよろしくお願いいたします。

3. 2021 年度 介護の安全確保のための取り組み・進捗状況

2021 年度は、事故防止に関して、さらに組織全体の管理体制を強化し、社員一人ひとりのリスクに対する意識を高めていきます。専属のトレーナーによる「効果的な教育」を行うことで、重大事故発生を抑え、ご利用者様・ご家族様への「安全・安心」の提供に努めていきます。また、引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策をさらに強化してまいります。

【主な取り組み】

(1) 介護の安全確保のためのスタッフへの教育・研修実施

研修チーム（介護事業管理課長・統括マネジャー・レジデンスマネジャー・運営アドバイザー・インストラクター2名）による計画的な研修を実施。今年度は新型コロナウイルス感染予防の観点から、研修はオンラインを中心に実施しております。

研修	対象者	教育・研修内容	回数／年
臨店指導	各施設 全員	専属インストラクターによる臨店指導 各施設巡回	各施設 4 回
新人研修委員会	各施設 教育担当者	新人を育てる人を育成する研修	毎月
新卒者研修	新卒者	4 月入社の新卒社員の研修	5 回
施設長研修	施設長	施設長対象のマネジメント研修	1 回
リーダー研修	リーダー	次期施設長候補を対象に実施	4 回
中堅社員研修	中堅社員	次期リーダーを対象に実施	2 回
出張研修	各施設全員	オンラインにて実施 「新型コロナウイルス感染予防研修」	各施設 1 回
入社 2 か月後 研修	入社 2 か月者	理念、ホスピタリティ、接遇、認知症等について学ぶとともに、個々の悩みも参加者で共有。問題解決を図る。	毎月
介護技術研修	介護士	介護技術の専門実技研修	毎月
ナース研修	ナース	専門技術ナース研修	8 回

機能訓練士研修	機能訓練士	専門技術機能訓練士研修	12 回
OJT 担当者研修	OJT 担当者	介護技術向上と統一化を目標とし実施。 実地試験実施後、合格者は新人指導 「OJT 委員」として認定。	4 回
現任者教育 (新規)	入社 5 年以 上	入社 5 年以上で、役職についていない職 員を対象に基本の確認、理念の研修	10 回
外部研修	全員	オンラインによる各種研修	随時

(2) 事故の種類別再発防止策の継続実施

- ①転倒防止 ②誤薬、落薬防止
- ③誤嚥、誤食防止 ④行方不明（無断外出）防止

(3) ICT を活用した安全への取り組み継続

- ①見守りセンサー 眠りスキンの活用
- ②フロアカメラの活用

(4) 経営トップによる施設巡回点検

◇実施日 : 2021 年 7 月 7 日・8 日

◇巡回点検実施者：斉藤社長、丸山専務

※今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、デイサービス・ショートステイのみ



<施設巡回の様子> 2021 年 7 月 7 日・8 日

◇施設運営に必要な常勤職員数の確保（巡回点検当日）

介護保険上、必要な要員の確保ができております。

	施設名	定員	当日利 用者数	監査時必要 常勤職員数	監査時出勤 常勤職員数	可 否
デイサービス	上島デイサービス	60 名	47 名	7.4 名	11.0 名	○
	可睡の杜デイサービス	60 名	54 名	8.8 名	9.0 名	○
	見付デイサービス	62 名	55 名	9.0 名	9.1 名	○
	富塚デイサービス	47 名	44 名	6.8 名	8.5 名	○
	中島デイサービス	48 名	39 名	5.8 名	7.5 名	○
	西美蘭デイサービス	50 名	47 名	7.4 名	7.5 名	○
	掛川デイサービス	55 名	39 名	5.8 名	7.5 名	○
	福田デイサービス	45 名	40 名	6.0 名	6.0 名	○
	葵西デイサービス	50 名	50 名	8.0 名	8.0 名	○
	志都呂デイサービス	48 名	45 名	7.0 名	7.0 名	○
	豊橋西幸デイサービス	52 名	50 名	8 名	8.3 名	○
	掛塚デイサービス	35 名	30 名	4.0 名	4.5 名	○
	西ヶ崎デイサービス	43 名	41 名	6.2 名	6.2 名	○
	原島デイサービス	30 名	22 名	2.4 名	4.0 名	○
ショートステイ	上島ショートステイ	43 名	43 名	15.0 名	20.1 名	○
	見付ショートステイ	50 名	44 名	15.0 名	20.2 名	○
	豊橋西幸ショートステイ	20 名	20 名	6.0 名	11.5 名	○
	豊橋南汐田ショートステイ	50 名	46 名	16.0 名	18.4 名	○

【主な指摘事項と対応策、改善後の状況】

施設名	ラクラス志都呂デイサービス	
指摘事項	西側 従業員駐車場の砂利の管理（滑り防止）	
対応策	送迎ドライバーによる定期的な清掃実施	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス西美蘭デイサービス	
指摘事項	お風呂場の床が浮いている（滑り・転倒防止）	
対応策	修繕実施	
	改善前	改善後
		

施設名	ラクラス葵西デイサービス	
指摘事項	フロア床の汚れ、引っ掛かり（転倒防止）	
対応策	ワックス剥がし&清掃	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス福田デイサービス	
指摘事項	施設回りの雑草の手入れ（害虫予防）	
対応策	除草、草取実施	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス豊橋南汐田ショートステイ	
指摘事項	壁の角の破損、汚れ（安全衛生）	
対応策	コーナーガードの設置、修繕	
改善前		改善後
		

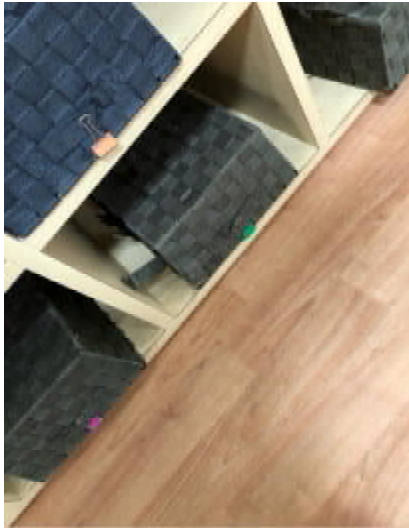
施設名	ラクラス可睡の杜デイサービス	
指摘事項	畳部屋の汚れ、引っ掛かり（転倒防止）	
対応策	フローリングのカーペット対応	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス上島デイサービス	
指摘事項	玄関近くの壁の汚れ、破損	
対応策	修繕&コーナーガード設置	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス上島デイサービス	
指摘事項	扉の取っ手、手すりの破損（安全衛生）	
対応策	手すりにクッションを巻くことで安全確保	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス上島ショートステイ	
指摘事項	フロア床の汚れ（カビ防止）	
対応策	ワックス剥がし&清掃	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	フロア柱の傷（安全衛生）	
対応策	修繕&コーナーガード設置	
改善前		改善後
		

施設名	ラクラス富塚デイサービス	
指摘事項	荷物かごの破損	
対応策	かごの交換	
改善前		改善後
		

(5) 施設のハード面での安全の取組

- ①建物内の使用素材の検証
- ②手すり、緩衝材等装備での安全確保
- ③テーブル、いすの仕様の検討

(6) 事業部スタッフの施設訪問による巡回指導、支援実施

リスク管理委員会、衛生委員会、臨店指導、防災訓練等に参加
(オンラインでの会議参加含む)

(7) 施設送迎の安全のための取組み

- ①送迎担当者の安全運転教育実施
- ②デイサービス 14 施設のドライバー対象に実施
- ③新規送迎担当者は、入社後、先輩社員同乗のもと、最低 2 週間の研修受講。
- ④送迎担当者への携帯用アルコールチェッカーの貸与

(8) 定期的な防災訓練の実施

- ①地震防災訓練 各施設にて年2回開催
- ②水害訓練 上島、中島、西美蘭、南汐田 7月（実施済）
- ③土砂災害訓練 見付 6月（実施済）

(9) 監査の実施

- ①自己監査（事業部幹部による各施設監査）
 - ◇監査項目：虐待防止対策、重大事故対策、介護保険法遵守、
人員体制確保、労働基準法遵守、個人情報保護、
ハラスメント対策、新型コロナ対策
- ②監査等委員監査（当社取締役） 年3回実施

(10) 個人情報保護対策

- ・ 個人情報は決められた場所に保管、施錠の徹底。
- ・ 机の上や車内に個人情報を放置しない。
- ・ 持ち出しの場合の厳格なルール設定。管理台帳活用の徹底。

(11) 本部職員による介護研修の実施

- 日時：2021年5月1日、2日
- 場所：ラクラス上島 会議室
- 参加者：介護事業部長他本部職員22名

本部職員が、いざという時に施設現場に応援に入ることができるよう、移乗介助、食事介助等の基本的な介護技術の研修会を実施しました。



(12) 「食」の安全

■食事の塩分量の調査実施（2021年4月・5月）



上島ｼﾞ 5/2朝食(和食)	(g)	(%)
魚肉ソーセージソテー	35.0	6.2
キャベツのトマト煮	40.8	7.2
スナップえんどうのサラダ	23.6	4.2
ご飯	164.5	29.1
味噌汁	140.3	24.8
漬物とフルーツ	21.7	3.8
牛乳	140.3	24.8
	566.2	100.0

熱量(ｶﾘｰ)/100g 当り	70	㎐
熱量(ｶﾘｰ)/1食 当り	396	㎐
食塩相当量/100g 当り	0.41	g
食塩相当量/1食 当り	2.32	g

献立表に記載された塩分表示と実際に提供された食事塩分量に大きな誤差はありませんでした。引き続き健康に留意し、美味しい食事の提供を目指します。

(13) B C P（事業継続計画）の整備

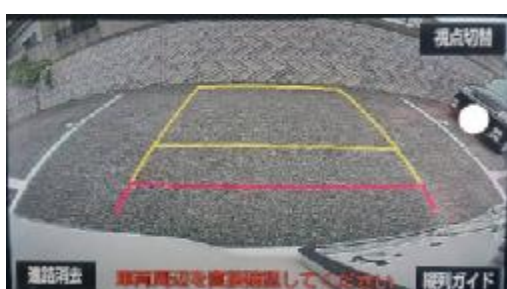
■自然災害（地震、水害等）BCPの修正

■新型コロナウイルスに特化したBCPの作成

自然災害や事故によって「重要な業務」が中断しないように、または中断してしまった場合に早期に事業を再開できるよう、随時修正改善を実施していく。

(14) 送迎車全車両にバックモニター設置

送迎車両のバック事故防止のため、各施設の送迎用車両全 115 台にバックモニターを設置しました。



4. 新型コロナウイルス感染予防対策について

「高齢者施設は、利用者の方々やその家族の生活を継続する上で欠かせないもの」という認識のもと、厚労省通達に則り、以下のような感染防止に向けた対策を実施しております。皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。（2021年8月6日現在）

（1）感染防止に向けた取組み

①施設等における取組み

- ・お迎え時は、送迎車に乗る前に「乗車前チェックシート」で検温結果や体調の確認を実施します。
- ・発熱、風邪症状、本人ご家族の感染拡大地域への往来等の感染が疑われる場合には、利用を制限させていただく場合がございます。
- ・ご利用者様の手洗いうがいを徹底し、マスク着用をすすめます（必要な方にはマスクを配布します）
- ・施設の共用部分の消毒、清掃を定期的におこないます。
- ・テーブルの間隔をあけご利用者の密を防ぐとともに、換気を実施します。
- ・緊急やむをえない場合を除き、面会はオンラインで行います。
- ・感染の疑いについて早期に把握できるよう、日頃からご利用者の健康の状態や変化に留意します。
- ・感染者が発生した場合に、積極的疫学調査への円滑な協力が可能になるよう、症状出現後の接触者リスト、ご利用者のケア記録、直近2週間の勤務表、施設に出入りした者の記録を準備します。
- ・フロアのテーブルには感染防止パネルを設置し、飛沫感染防止を徹底します。

②従業員の取組み

- ・施設で働くスタッフは全員マスク着用、出勤前の検温、体調チェックを義務付けております。
- ・こまめな手洗い、手指消毒を実施いたします。
- ・従業員本人と同居の家族等を含め、感染拡大地域への往来および感染拡大地域からの来客との接触は徹底回避を指示しています。
- ・遠鉄グループ職域にて、ワクチン接種希望者に2回の接種を終えております。

（2）感染者が発生した場合の対応

- ・速やかに当該施設での情報共有をおこなうとともに、指定権者様（県・市町村）、ご家族様、担当のケアマネジャー様に報告をおこないます。
- ・施設全域の消毒・清掃をすみやかに実施いたします。
- ・保健所の指示に従い、濃厚接触者の特定に協力をいたします。
- ・デイサービスおよびショートステイは、消毒等ため発生日翌日の営業は中止する場合があります。またそれ以降の営業は保健所と相談して決定いたします。
- ・レジデンスでは、入居者様の体調を再確認させていただくとともに、一定期間の個室対応をさせていただく場合がございます。

5. 介護の安全に関する組織体制及び指揮命令系統

